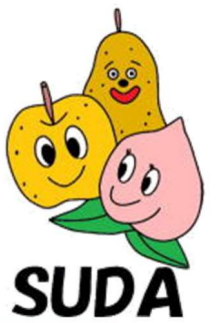




# 須田小学校 国語学習の景色



研究主題 主体的に学習に取り組み 意見を交流して 学びを深める子

## 研究内容 ① 1次 学習ゴールの設定

## 研究内容 ② 2次 活動目標を達成するための追求目標の読み取り

## 研究内容 ③ 3次 学習成果の発信

これまでに学んできたこと

### 主体的な学びのしかけ

導入時 **2つの視点**の合体『学習ゴール』の設定

#### 《学習ゴールの2視点》

【児童の興味関心】から

#### A活動の視点

《単元に位置づける言語活動》

- 音読大会
- 本の紹介文を書く
- 新聞記事の小見出しを付ける

【学習指導要領】から

#### B追求の視点

《児童に付けたい力》※本年度実践分

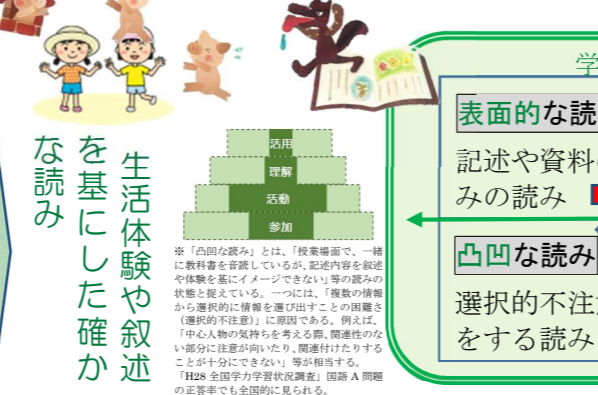
- 物** 作品構造 (山場, 場面对比)
- 語** 表現技法 (会話文, 情景描写)
- 説** 人物関係 (中心人物, 対人物)
- 明** 三部構成 (問いと答え)
- 表現技法 (事実と理由の区別)
- 要旨 (小見出しと要旨の関係)

### 意見交流のしかけ

#### 意見交流のしかけ①

#### 多様な考えを生む学習課題

※多様な考え…児童の生活体験と学習スキルから生じる**読みの深さの違い**



#### 《有効な学習課題の条件》

- 叙述を基に「**論理的な読み**」が可能か → 根拠を基に「**対話的な**」学び
- 児童の「**生活体験との接点**」はあるか → 自分と繋いで「**より深い**」学び

#### 意見交流のしかけ②

#### 考えのかかわりを生む支援

- 全ての子供が話す場
  - ・ペアやグループ活動
- 焦点化、視覚化ツール
  - ・カードの分類操作 (KJ法)
  - ・三段構成を意識した板書
  - ・ネームプレートの活用



#### 《「対話スキル」の活用》

- 理由**…考えの根拠を確かめる  
どうして? 理由は
- 具体**…考えの背景にある生活体験を確かめる  
たとえば? 例を言うと
- 一般化**…互いの考えを整理する  
つまり? まとめると

### 深い学びのしかけ

#### 学んだ力を活用して、解決する個人課題

#### 《自力解決の支援》

- ◆複数の図書の準備
  - ※教材の構造、テーマ、作者等から (家庭、朝読書などで並行読書)
- ◆学びの足跡の蓄積 (ふり返り)
  - ※教科書教材の読み取りで身に付けた力を試す場をもつ。
  - ※単元学習と並行して、児童が選んだ図書 (新聞) から読み取ったこと (足跡) を残す、作業プリントや付箋を準備する。
  - 学習を通して、「何ができるようになったか」「どんな関心が広がったか」子供自身が自覚する
- ◆「伝えたい」気持ちを膨らませる活動
  - ※学習ゴールに相手意識を含ませる

授業の具体的な場面

1年 物語教材「かいがら」の実践から ~ 学習ゴールの工夫

#### 【学習ゴール】 チャレンジ音読大会

「2年生に、自分が選んだ本を読んでみたい! (活動の視点)」

『かいがら』のお話で気持ちを込めて読むワザ (追求の視点) にチャレンジ!

※この後、児童の意識を「学習ゴール」とつなげながら、物語の「中心人物の気持ちの変化」が見られる場面に焦点化して読み進める。

↓「山場」の読み取り



本年度の実践から

4年 物語教材「走れ」の実践から ~ 学習の焦点化の工夫

#### 「友達に登場人物の気持ちが大きく変化した物語を紹介しよう」

#### ◆物語の「山場」に焦点付けた学習課題◆

- ◎中心人物 (のぶよ) の気持ちが大きく変わったのはどこでしょうか
- C1「走れ そのまま走れ」のところ
- C2「ねえちゃん行け」「のぶよ 行け」のところ どうして?
- C3はじめは弟で、後は母親 (の言葉)
- C4 (母親の特製弁当の) わりばしに書かれていた応援メッセージで、弟がうれしくなった。その弟の応援で、のぶよの気持ちもほだけていったと思います。
- C5(でも)弟は「ぼうしをぐつとかぶって かけていった」とあるので、(すぐには) うれしいのではないと思います。
- C6 弟と母親の期待に応じて一生懸命走ったと思います。
- C7一緒に応援したので、(二人が) 仲直りしたんだと思った。



←波下線の発言を繋ぎ、中心人物 (のぶよ) の「家族への思い」を読み取るとともに、児童の運動会での実体験を重ねることで、より深い読みへ。教材文の構成のとらえ (三段構成の中の「山場」と、児童の生活体験との関連付けが、読みを広げていく。

5年 説明教材「新聞記事を読み比べよう」

#### の実践から ~ 学びの足跡の工夫

#### 「小見出しをつけて、友達に紹介しよう」

教科書教材の読み取りから、新聞記事の構成を知る。次に、新聞記事の華「小見出し」を効果的に付けるためのポイント (要点と意図の読み取り、写真とのつながり) を活用し、自ら選んだ記事の小見出しを付ける。(新聞ワークシートの活用場面)

